

* 環境マネジメントシステムの適用範囲および環境(安全)方針（日本ゼオン株式会社本体事業所）							
適用 範囲		高岡工場	川崎工場	徳山工場	水島工場	氷見二上工場	敦賀工場
	①組 織 の 単 位	日本ゼオン株式会社高岡工場の室課	日本ゼオン株式会社川崎工場の室課	日本ゼオン株式会社徳山工場の室課	日本ゼオン株式会社水島工場の室課および岡山ブタジェン株式会社	日本ゼオン株式会社氷見二上工場の室課 日本ゼオン株式会社高岡工場敷地内TRCプラント	日本ゼオン株式会社敦賀工場の室課
	機能	合成ゴムの製造、電子材料の製造、高機能樹脂の製造、およびパイロットプラントの研究	合成ゴム、合成ラテックス、電子材料製品の製造	合成ゴム、合成ラテックス、画像材料およびカーボンナノチューブの製造並びに合成ゴムおよび熱可塑性樹脂のパイロット研究	合成樹脂、化学品、化成品および合成ゴムの製造	光学フィルム製品に関わる製造	光学フィルム製品に関わる製造
	物理的境界	富山県高岡市荻布 630 番地、日本ゼオン株式会社高岡工場全エリア なお、高岡工場敷地内のゼオン高岡グループ関連会社および研究所の建屋、敷地は、適用を除外するが、環境側面への支援を行う	神奈川県川崎市川崎区夜光 1－2－1 および 1－2－2 日本ゼオン株式会社川崎工場全エリア	山口県周南市那智町 2 番 1 号 日本ゼオン株式会社徳山工場 全エリア	岡山県倉敷市児島塩生字新浜2767-1、日本ゼオン株式会社水島工場全エリア	(1) 日本ゼオン株式会社氷見二上工場氷見地区（富山県氷見市上田子80） (2) 日本ゼオン株式会社氷見二上工場二上地区（富山県高岡市二上新422-1） (3)日本ゼオン株式会社高岡工場敷地内TRCプラント（富山県高岡市荻布630）	日本ゼオン株式会社敦賀工場（福井県敦賀市苅生野 35）
	②組織の活動	原材料購入から製造、包装、保管、出荷にいたる業務	原材料購入から製造、包装、保管、出荷にいたる業務、および総合開発センターからの排水を含むユーティリティーの運転	原材料購入から製造、包装、保管、出荷にいたる業務、およびユーティリティーの運転	原材料購入から製造、包装、保管、出荷にいたる業務	原材料購入から製造、包装、保管、出荷にいたる業務	原材料購入から製造、包装、保管、出荷にいたる業務
	製品およびサービス	合成ゴム、電子材料、高機能樹脂、客先への情報提供、客先および近隣地域でのクレーム発生時の対応	合成ゴム、合成ラテックス、電子材料製品、客先への情報提供、客先および近隣地域でのクレーム発生時の対応	合成ゴム、合成ラテックス、画像材料およびカーボンナノチューブ製品、客先への情報提供、客先および近隣地域でのクレーム発生時の対応	合成樹脂、化学品、化成品および合成ゴム、客先への情報提供、客先および近隣地域でのクレーム発生時の対応	光学フィルム製品、客先への情報提供、客先および近隣地域でのクレーム発生時の対応	光学フィルム製品、客先への情報提供、客先および近隣地域でのクレーム発生時の対応
	③管理し影響をおよぼす組織の権限および能力	本社部門（設計、開発含む）、協力会社（製品の物流、産業廃棄物の処理等）、取引先（原材料の供給会社等）	本社部門（設計、開発含む）、協力会社（製品の物流、産業廃棄物の処理等）、取引先（原材料の供給会社等）	本社部門（設計、開発含む）、協力会社（製品の物流、産業廃棄物の処理等）、取引先（原材料の供給会社等）	本社部門（設計、開発含む）、協力会社製品の物流、産業廃棄物の処理等）、取引先（原材料の供給会社等）	本社部門（設計、開発含む）、協力会社（製品検査、製品梱包、製品の物流、産業廃棄物の処理等）、取引先（原材料の供給会社等）	本社部門（設計、開発含む）、協力会社（製品検査、製品梱包、製品の物流、産業廃棄物の処理等）、取引先（原材料の供給会社等）
環境(安全)方針		1．環境事故・環境異常の発生“ゼロ”を追求していきます。 当事業所で取り扱う高圧ガス、危険物は、取り扱い方を誤ると重大な環境汚染につながる危険性があります。事故および環境汚染の予防に関し、全従業員の英知を傾け取り組みを展開していきます。 また、地球規模から地域までの幅広い視点での環境保護のために、「ゼロエミッション」の達成を目指します。 2．事業所の特徴を自覚し、環境改善に取り組みます。 当事業所は、地域社会の住居に隣接していること、工場排水を小矢部川に依存していることから、一度事故あるいは異常が発生すると、影響は事業所内や顧客のみに留まらず、近隣の住民の方にも多大な被害を及ぼすことになります。環境事故・異常を撲滅し、安心して働ける職場、信頼される企業にしていくとともに、安心して生活できる生活環境の確保を目指します。 3．環境関連の法令、協定及び自ら定めた規程類について遵守します。 環境関連の法令の遵守はもとより、当社・当事業所が結んだ協定および社内規程類についても遵守します。 4．継続的に環境改善を進めます。 経済的に可能な技術、管理手法の開発・工夫を継続的に進めていきます。 そのために、環境目標について毎年見直しを図り、常にレベルの向上を目指していきます。 また、環境マネジメントシステムを定期的に見直し改善を進め、内容の充実を図っていきます。	当工場は、京浜コンビナートに立地した高圧ガス、危険物、毒劇物を取り扱う石油化学工場であることを踏まえて、環境安全方針を以下に定める。 1．全就業者の参加の下、安定で安全な操業に努め、地域社会の皆さまに安心していただける工場であり続けます。 2．職場のあらゆる危険源の特定を行い、その除去・低減により、環境保安事故・労働災害の発生ゼロを目指します。 3．全ての業務に係わる環境負荷の継続的な改善を図り、環境汚染の予防に努めます。 4．環境安全関連の法規制・協定および自ら定めた規定類を遵守し、環境安全レベルの維持向上に努めます。 5．自然災害、パンデミックを想定した被害の未然防止や拡大防止を行います。 6．全就業者の心身の健康保持増進を図り、活気ある職場づくりに取り組みます。 7．環境、保安および労働安全衛生に係わる目標を定めて活動を展開し、各マネジメントシステムの継続的改善を図ります。	当工場は、周南コンビナートに立地した高圧ガス、危険物、毒劇物を取り扱う石油化学工場で住宅地および鉄道、瀬戸内海に隣接している。「持続可能な地球」と「安心で快適な人々の暮らし」に貢献するために、環境安全方針を以下に定める。 1. 全就業者の参加の下、安定で安全な操業に努め、地域社会の皆様に信頼いただける工場であり続けます。 2. 環境、保安、及び労働安全衛生に係わる目標を定めて活動を展開し、環境安全関連のパフォーマンス向上のため、各マネジメントシステムの継続的改善を図ります。 3. 職場のあらゆる危険源の特定を行い、その除去、低減により、環境保安事故・労働災害の発生ゼロを目指します。 4. 汚染の予防およびカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーを推進し、環境保護に取り組みます。 5. 自然災害、感染症の流行を想定し、被害の未然防止や拡大防止に取り組みます。 6. 環境安全関連の法規制・協定及び自ら定めた規程類を順守し、環境安全レベルの維持向上に努めます。 7. 全就業者の心身の健康の保持増進を図り、活気ある職場づくりに取り組みます。	水島工場は、原料から製品までを一貫生産する世界一の「C5 総合利用工場」として、「サステナビリティ基本方針」に示す社会貢献と「環境理念」に示す環境保護の精神の下に、石油化学製品の生産活動にかかわる環境方針を以下に定める。 1. 社会の公器としての企業の使命から、全ての業務にかかわる環境マネジメントシステムを構築し、地域及び地球規模での環境保護に努めます。 2. 独創的技術による、製造工程の改善及び新製品開発における事前の環境対策の推進など、ゼロエミッション、革新的な省エネルギーに挑戦します。 3. 環境関連の法規制などを遵守することはもとより、方針管理の課題として自主的に目標を定め、全員参加活動で継続的な環境改善に努めます。 4. 生産革新により安定・安全生産を徹底追求し、地域社会から常に信頼される工場を目指します。	当事業所は、地域社会の住居に隣接し、液晶テレビ等に使用されている光学フィルムを製造している。 事故、異常発生時、近隣住民にまで被害が及び、更には顧客の生産にも影響を及ぼすことになる。 環境事故・異常を撲滅し、安心して働ける職場の構築を行うことで、近隣住民から信頼される企業を目指すとともに、健全な環境と安心して生活できる環境確保を目指し、次世代に継承することが責務であることを認識し、環境に調和する生産活動を通じて社会貢献し、環境負荷と環境リスクの低減に努めていく。 トップマネジメントはこの目的達成のため、下記の事項を環境方針として定める。 1．環境事故、環境異常の発生「ゼロ」を追求していく。 2．持続可能な排出物削減に向けた改善活動を継続的に進める。 3．資源のリサイクルを推進し、サーキュラーエコノミーの実現に貢献する。 4．省エネを推進するとともに、汚染の防止に努める。 5．環境に配慮した生産技術の推進と、成長戦略の継続的推進。 6．環境関連の法令、自ら定めた規定類を順守する。	当事業所は、地域社会の住居に隣接し、液晶テレビ等に使用されている光学フィルムを製造している。 事故、異常発生時、近隣住民にまで被害が及び、更には顧客の生産にも影響を及ぼすことになる。 環境事故・異常を撲滅し、安心して働ける職場の構築を行うことで、近隣住民から信頼される企業を目指すとともに、健全な環境と安心して生活できる環境確保を目指し、次世代に継承することが責務であることを認識し、環境に調和する生産活動を通じて社会貢献し、環境負荷と環境リスクの低減に努めていく。 トップマネジメントはこの目的達成のため、下記の事項を環境方針として定める。 1. 環境事故、環境異常の発生「ゼロ」を追求していく。 2.持続可能な排出物削減に向けた改善活動を継続的に進める。 3.資源のリサイクルを推進し、サーキュラーエコノミーの実現に貢献する。 4.省エネを推進するとともに、汚染の防止に努める。 5.環境に配慮した生産技術の推進と、成長戦略の継続的推進。 6.環境関連の法令、自ら定めた規定類を順守する。